

栄小研究部通信

一人一実践:道徳科【6の1 神谷先生】～振り返り～

1 授業参観シートより先生たちの声「1. 評価基準の設定について」

- 授業開始時に「みんなのそれぞれの『誠実』がみつければ（考えられれば）いいと思います。」と本時のねらい（ゴール）を示していたところが良かった。
- 授業の最初に「誠実とは何かということに向かい合う気持ちが大切だよ。」と先生が言ったことにより、子どもたちの本音がたくさん出てくるなど、実り多い時間となっていた。



- 他者の発言を受けた交流ができて深まりが見られていたので、評価基準が適切であったと感じた。
- 子どもたちから様々な意見が出て、その後の考えを、自分たちなりの言葉にできていたのでよかったと思う。



2 授業参観シートより「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- スプレッドシートの活用により、事前、事後の変化、考えの深まりが児童自身も教師も見て分かる点が良かった。
- 友達の考えを見ることができて、表現の仕方を参考にすることができていた。
- 事前アンケート、立場を示す Jamboard は最終的に理由をまとめるための重要な手立てとなっていて良かった。



- 他の人が選んだ位置がひと目で分かり、みんなの意見を聞いて、自分の考えが揺らいで移動させていた子もいて、そういう使い方もできるのだと分かった。
- 資料を読み終えた後に行ったポジショニングが有効であった。展開前段にポジショニングを行うことにより、自分の考えをまとめる大きなきっかけになっており、有効な手段であると感じた。
- 目的に応じた ICT の使い分けが子どもにも浸透していたと思う。



3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」



- 授業前後に「誠実」に対する考えをスプレッドシートに残すことで、個人間の変容も見取れるので良かった。
- 「深める」段階ではノート、「振り返る」場面ではタブレットと、2つの「書く」場面で、思・判・表することができていて良かった。
- 改めて主題に立ち返ってから振り返りを行ったことで、振り返りの内容がより充実した内容になったと思う。

4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」

- 多様な意見がでてきたことに加えて、他の意見を認める発言や、本音が出てきていて、みんなで話し合いを楽しむあたたかい雰囲気を感じた。
- 道徳の授業はどんなまとめで終わるのか興味深かったが、子どもたちの考えも大事にしながら、上手にまとめていたので感心した。
- 落ち着いたクラスの空気と神谷先生のていねいな声掛けで、子どもたちが様々な意見を出しやすい教室空間になっていてすてきだなと思った。



- 先生と気になったことを言い合える風土や、主題をこえて「モラル」「社会の厳しさ」など生きていくうえで必要なことについて話がふくらみ、発想の豊かさを感じた。
 - 自分の疑問や考えたことを「先生！」と呼びかけて、次々と話せる雰囲気、笑い合いながらも授業からずれていかずに考えることに夢中になれる教師と児童の関係が良かった。
- 「机間指導で児童の考えを見取り、一言ずつ声をかけ、その考えの良さを伝えたり、交流のときの指名や発表につなげたりという基本をしっかりやっている姿勢をぜひ先生方に伝えてほしい。」というご意見がありました😊



- ✧ 子どもたちの素直な考えがどんどん出てくる様子や、神谷先生と子どもたちとの対話を通して考えが深まっていく様子などから、日頃の子どもの関わり方のていねいさや児童との関係の良さを感じてとても温かい授業風景でした。また、机間指導や板書など授業の基本を大切にしている姿もとても勉強になりました。神谷先生、お忙しい中、ありがとうございました。
- ✧ 先生方には、お忙しい中、授業参観の時間を作っていただいております。ありがとうございます。参観シートの記入のご協力にも感謝しております。